

はじめに

自然災害は突然私たちを襲ってきます。阪神・淡路大震災や新潟県中越地震、台風や豪雨による風水害など全国的に自然災害が多発しており、災害は特別なことではなく誰もが被害者になることが考えられます。

飛驒市においても、平成16年10月に襲われた台風23号の災害はまだ記憶に新しいところです（下記写真参照）。

我々は災害の発生を止めることはできませんが、事前に防災対策を行っておくことで被害を軽減させることはできます。市では、防災体制を確立するため、「飛驒市地域防災計画」を策定し防災対策の充実を図っています。

しかし、ひとたび大規模災害が発生すると、社会的混乱の中で行政の災害対応は大きな制約を受けることが予想されます。このようなときには市民の皆様による活動が最も大きな頼りとなります。阪神・淡路大震災でも、道路が寸断され消防等の出動が困難な時に、近隣住民による活動で倒壊家屋等から多くの方が無事救出されたと報告されています。

この冊子は、「飛驒市地域防災計画」を基に、市民の皆様が万一災害に直面した時の対応や、被害を最小限に抑えるための予防策を考える上で参考にさせていただけることを願い作成しました。

日ごろから避難場所の確認や危険箇所のチェックをし、災害初期の対応や予防策にお役立てください。

